

美術—計画・進行用紙

教師名：

セッション：

志願者名：

志願者のセッション番号：

学校名：

学校番号：

この用紙の記入

各志願者および教師は、美術を受験するにあたりこの用紙を記入しなければなりません。この用紙を記入することにより、評価用資料の制作過程が強化され、志願者の課題作品の真正さを裏づけることになるからです。用紙には、評価要素ごと（比較研究、プロセスポートフォリオ、展示）にセクションが設けられています。一度の話し合いですべての点について話し合っても構いませんし、要素ごとに話し合いを設けても構いません。記入済みの用紙は、モデレーションのサンプルの一部である課題作品を制作した各受験生の内部評価資料と一緒に、I Bに提出しなければなりません。また別に、I Bが各受験生の用紙も審査のために提出を依頼することもあります。

志願者

この用紙は、美術課題の計画および進行期間中に記入しなければなりません。これは、各要素に関する美術担当教師との3回にわたる話し合いの記録です。最初の話し合いでは、あなたの芸術的興味、そしてあなたがどの芸術家および作品制作の形式に重点を置いて取り組んでいくつもりかについて話し合います。2回目には、研究、実験そして/または実践においてどれだけ前進したか、そしてアイデア、技能、制作過程および技法がどのように見直され改良されたかについて話し合います。3回目には、草案について話し合い、フィードバックをもらいます。デジタル記録の質、課題作品がどのように提示されているか、そしてすべての評価要件が満たされているかについても、担当教師と見直しをするようにしましょう。

教師

教師は、各志願者と少なくとも3回話し合いを持たなければなりません。各要素において、最初の話し合いでは、志願者が評価規準と申し込みをしたレベルの要件を理解していることを確認し、進行と予定について話し合います。2回目の話し合いは、志願者の進行および学問的誠実性に重点をおきます。最後の話し合いは、比較研究およびキュレーター・ステートメントの草案についてです。プロセスポートフォリオに関しては、作品制作の形式の正しい選択が含まれているか、そして出典は明らかにされているかを確認します。受験生の草案にコメントすることは認められていますが、志願者の成果物を編集してはいけません。デジタル記録の質を確認し、課題が重複することなく全要件を満たしているかを確認しながら、各志願者の電子ポートフォリオを見直してください。これ以外の話し合いも許可されていますが、この用紙に記録しなければならないのは、この3回だけです。

セクションA：比較研究

計画 および 進行	志願者のコメント 話し合い直後にコメントを記入してください。	日付
1回目の 話し合い		
2回目の 話し合い		
3回目の 話し合い		

裏面も記入してください

教師のコメント：

セクションB：プロセスポートフォリオ

計画および進行	志願者のコメント 話し合い直後にコメントを記入してください。	日付
1回目の話し合い		
2回目の話し合い		
3回目の話し合い		

教師のコメント：

セクションC：展示

計画および進行	志願者のコメント 話し合い直後にコメントを記入してください。	日付
1回目の話し合い		
2回目の話し合い		
3回目の話し合い		

教師のコメント：

宣誓：

上記の私のコメントに間違いはありません。

志願者名：

日付：

教師名：

日付：